

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

32001 「北辰中学校」

札幌市立北辰中学校

1 本年度の重点目標

◎生徒が「通いたい」、保護者が「通わせたい」学校づくり

2 本年度の経営方針

- ① 「人間尊重」の教育の推進
- ② 不登校生徒に対する取組の組織的対応のための体制の構築
- ③ ICTを活用した教育の推進
- ④ 家庭や地域とともにある学校づくりの推進
- ⑤ 働き方改革の継続
- ⑥ あいさつ・ありがとう・安心(3つのA)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

| 自己評価結果 (A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」) | | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---|--|-------------|--|----------|---------|
| 評価項目 | 達成状況 | 自己評価及び改善の方策 | | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 先生や学校の姿勢について | 生徒や保護者からの信頼を得ており、保護者からの協力も得られやすい。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人への丁寧な個別対応に努めるとともに、落ち着いて授業に取り組める環境づくりを継続して行った。 ・小中一貫の取組として安心して通学できる環境を整えるため、部活動体験会などを実施し、保護者への周知と理解の促進に努めた。今後も、丁寧な対応と分かりやすい情報発信に努める。 | A | A |
| | 学習環境をしっかりと整え、生徒が安心して通学できる学校になっている。 | A | | | |
| 学校関係者評価者による意見 | PTAが縮小する中でもあるが、保護者から保護者へ「横」のつながりも大切にする必要がある。ICTなども活用しながら、情報発信等お願いしたい。 | | | | |
| 授業や学習指導について | 生徒の学ぶ意欲を高める、「分かる、楽しい授業」を行うため、工夫や改善を行っている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・期待される平均値は超えているが、生徒による評価と保護者が感じている評価の差が大きく出る結果となった。「わからない」の回答も昨年同様が多い。保護者も安心して受け止められるよう、透明性のある評価の説明と発信に努める。 ・生徒一人一人の学ぶ意欲をさらに高めるとともに、「本物の経験」を大切にしたい教育活動を推進していきたい。 ・学習評価について、今後も教職員の共通理解を図れるよう継続的に研修を行う。 | A | A |
| | 教材研究や工夫、改善を行い、生徒に基礎・基本をしっかりと理解させている。 | B | | | |
| | 学習指導要領に沿った評価規準で評価を行っている。 | B | | | |
| 学校関係者評価者による意見 | 保護者にとって成績は大変重要視されるものである。しかし、評価規準に基づいて評価を行っていることが十分に伝わっていない点があり、改善する必要がある。今年度は、学級・学年閉鎖もあり、公開授業が中止されたという背景があったものの、今後は、公開授業を活用するなどして、評価の在り方について理解を深めてもらう取組を進めていただきたい。 | | | | |
| 生活や生徒指導について | 学校や社会のルールやマナーを生徒にしっかりと教えている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・「学校や社会のルールやマナーをしっかりと教えてくれる」設問に、1年生の94%が肯定的に回答した。学校での生活が、生徒にとって社会で必要な力として受け止めていることがうかがえる。 ・いじめ防止対策委員会、情報交流会、シャボテンログ等を通し、情報の集約と共有を図り、いじめ事案等の未然防止・早期発見に組織として今後も取り組む。 | A | A |
| | いじめの防止や早期対応に取り組んでいる。 | A | | | |
| 学校関係者評価者による意見 | 中学校として組織的に迅速に対応しており、素晴らしいと思う。情報を共有し、チームとして対応しているところが、担任任せにすることなく、学年、支援部など、多くの手で支えていることが素晴らしいと感じる。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------|---|---|--|---|---|
| 道徳や特別活動、総合的な学習について | 道徳の授業を中心に、自分や他人を大切に する気持ちを育てている。 | A | ・道徳の授業では、ICTを活用し、生徒同士が考え議論する活動を実施した。今後も、より深い学びの場となるよう工夫を重ねていく。 ・総合的な学習の時間では、コロナ禍後、本格的に復活し、軌道に乗ったと実感できる。生徒が生き生きと活動する姿が見られた。今後も、キャリア教育の充実をめぐる。 | A | A |
| | 学校生活や行事等で集団生活の大切さや 生きる力、他人を思いやる気持ちを育て ている。 | A | | | |
| | 総合的な学習の時間では、生徒に探究的 に学ぶ楽しさを感じさせている。 | A | | | |
| 学校関係者評 価者による意 見 | 学年ごとに「わからない」と回答する保護者が減少し、肯定的な評価が上昇している。これは、学校での活動や学びを通して、保護者の道徳教育に対する理解が深まっていることの表れであると考えられる。今後も継続して取り組んでいただきたい。 | | | | |
| 全体的に | 北辰中学校は、子どもの「通いたい学 校」、保護者にとって「通わせたい学校」と なっている。 | A | ・学校評価アンケートの結果からも高い評価が得られている。今後も「通いたい・通わせたい学校」であり続けられるよう努める。 | A | A |
| 学校関係者評 価者による意 見 | 保護者の「わからない」という回答が大変少ない。これは、子どもを通して学校生活の充実や教育活動の積み重ねを実感できていることの表れであり、大変素晴らしいことである。また、子どもの居場所を考えていくことは、今後も大切である。個に応じた指導の充実も重要であり、部活動もその一つの役割を担っていると考える。 | | | | |
| 教職員向け項 目 | 特別な支援の必要な生徒に対し、個に応 じた適切な指導や支援を行っている。 | A | ・個々の生徒の実情や能力、特性に合わせ、ふさわしい個別指導計画の立案と実施、校内体制の整備および関係機関と協力した支援を行っていく。 ・研修活動では、研修部を中心に研究授業や意見交換を実施した。今後は、変化の激しい時代に対応できる研修内容の充実をめ、引き続き改善・工夫を重ねていく。 ・個人情報の扱いについては、取扱いに関する規定に則り、適切に処理するよう今後も周知徹底する。 | A | A |
| | 新しい時代にふさわしい研修活動を行って いる。 | B | | | |
| | 個人情報への扱いや適正な経理など、確実に 効率的な事務処理を行っている。 | A | | | |
| 学校関係者評 価者による意 見 | 合唱会では、7組の生徒も生き生きと歌っており、大変素晴らしい発表であった。日頃から自信のつけ方を身に付け、よりよい合唱に向けて練習に取り組んできた様子がうかがえる。学校は失敗から学ぶことができる場であるということ、今後も大切にしていきたい。 | | | | |

○次年度の具体的方向性として

- ・今後も本校の学校教育活動について、保護者や地域の方々にも理解していただけるよう分かりやすく発信する。また、引き続き「通いたい・通わせたい学校」を目指した学校教育活動を実践する。
- ・全職員で全生徒を見守り、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり
に努め、生徒・保護者からより一層の信頼が得られる関係を構築する。
- ・これまでの学びを社会に生きて働く本物の経験として発揮できるように、「直接体験の場」や「自己決定の場」「失敗から学べる場」などを創出し、多様な学びの場を提供する。
- ・小中・地域連携を大切にし、学校・家庭・地域が一体となり、一貫性・連続性のある教育を実践する。
- ・例年発行している「学習だより」を活用し、生徒一人一人の学習の様子が保護者にも分かりやすく
伝わるよう、情報提供を工夫し、より開かれた学校を目指す。
- ・北辰中学校らしい行事を大切にしながらも、教科授業時数を確保できるよう、精選すべきところは
精選し、より充実した教育課程の編成を目指す。
- ・多様な生徒の実情や能力、特性に対応するため、学年や関係組織、そして全校の協力体制により学
びを支援する校内体制を維持する。
- ・校内外における効果的な研究・研修により、教師の資質能力の向上を目指す。
- ・子どもの声を反映した運動機会の充実を図る環境整備推進事業推進校として、パートナー校と情報
共有しながら、生徒の健やかな体の育成に資する体制を整える。
- ・北辰中学校で勤務する教職員が、安心して働ける場となるよう、適切なカリキュラムマネジメント
を行っていく。

★その他、委員の方からのご意見

地域で歩いている北辰中の生徒の姿の中には、思春期らしい悩みや問題を抱えている様子がうかがえることもあった。地域の中で温かく声をかけられる関係が広がっていくとよいとも感じた。品行方正であることへの期待が大きい中学校区ではあるが、厳しさだけではなく、北辰中らしい柔軟さの中で、成功だけでなく失敗からも学び、安心して学べる環境を大切にしていっていただきたい。現在、パートナー校の小学校で、親子で性教育について学ぶ取組として、地域の産婦人科と連携した活動を行っている。中学校でも地域とのつながりを大切にし、地域の教育力を生かした取組についても検討していただきたい。